

第3学年社会科（公民的分野）学習指導案

日時 令和4年11月15日（火）6校時
学級 九戸村立九戸中学校 3年A組
指導者 後藤正有

1 単元名 第3章 私たちの暮らしと民主政治 第3節 地方自治と住民の参加
（ 教育出版 「中学社会 公民」 第3章 第3節 ）

2 内容のまとめ

〔公民的分野〕 C 私たちと政治 （2）民主政治と政治参加

3 生徒観

- （1）生徒は、第3章「私たちの暮らしと民主政治」で選挙のしくみや政党のはたらき、国会と内閣、裁判のしくみや三権分立について学習し、国の政治のしくみや政治参加について学習を行っている。
- （2）前単元において、模擬選挙や国会と内閣の関係性（議院内閣制）や国民と国政との関わりについて、国民の司法参加について学習経験がある。
- （3）本学級の生徒は、授業に集中して取り組んでおり、特に新たな知識の習得やグループによる話し合いに取り組んでいる。また、公民の学習と身近な生活やニュースを関連づけることで、自分事と考えるということが身に付いてきている。

4 単元の目標

- （1）地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解することができる。【知識及び技能】
- （2）地域が抱える課題をもとに、これからの地域社会の発展に向け、自分にできることを考察、構想し、表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- （3）地方自治に対する関心を高め、地方自治における課題を意欲的に追求しようとする。
【学びに向かう力、人間性等】

5 教材の特徴

本教材は、地方自治の意義について、身近な事例を基に考察し、理解するのに適している。また、どこにでも起こりうる地方自治の課題を住んでいる地域と比較し、習得した知識を基に、よりよい地域づくりのために課題をどう解決していくか、主体的に捉えることに適している。

6 本単元で主に働かせる「社会の見方、考え方」

社会的事象を、「対立と合意」、「効率と公正」に加え、「個人の尊重と法の支配」、「民主主義」の多様にわたる視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などに関連づけること。

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ② 地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	③ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	① 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

8 教科研究との関わり

(1) 学習課題や中心発問の精選

単元を貫く課題

九戸村議員になって、よりよい九戸村になるための提言をしよう。

どの地方でも起こりうる課題（地方財政や少子高齢化，人口減少）が自分の住んでいる地域でも起きていることを学習し，主体的に捉えることによって今後の地域発展のための具体案を考えさせることをねらいとする。

この課題に対して，「地方財源の見直し」や「子育てしやすい環境づくり」，「移住者を増やすための取り組み」「高齢社会に向けての環境づくり」について既習事項から具体案を期待する。

(2) 単元構成の工夫

1時 地方自治って何だろう	2時 暮らしを支える地域のサービス	3時 地域の暮らしを支えるために
<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治とは ・中央集権と地方分権 ・地方分権一括法 ・地方分権改革 ・地域のよさを活かす ・人口減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体の仕事 ・地方自治体のしくみ（首長と議会との関係性） ・直接請求権 ・住民投票 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源（地方税） ・依存財源（地方交付税，国庫支出金） ・地方債 ・少子高齢化 ・社会保障 ・ふるさと納税 ・市町村合併
住んでいる地域における課題		
↓		
4時 変わりゆく地域社会		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域における課題のどれを重要視するか考える。 		
↓		
5時 まちづくりのアイデアを提言しよう		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに地域の課題を基に，よりよい地域にするための提言を話し合う。 		

9 単元の指導計画

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

時	学習活動	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	

<p>【第三次のねらい】 地方自治のしくみを理解するとともに、自分が住んでいる地域の活動や課題を理解し、よりよい地域にしていくために、どのように課題を解決し発展させるか、対話的な活動を通して考え、判断させる。</p>				
<p>【単元を貫く課題】 九戸村議員になって、よりよい九戸村になるための提言をしよう。</p>				
	<p>◇地方自治のしくみについて、国政との比較を通して理解し、地方分権の意義を考える。 ◇住んでいる自治体の職員の話から話を聞き、地域の活動や課題を把握する。 問 地方の政治は、どのようなしくみで行われているのだろうか。</p>	●	●	<p>●地方自治と国政を比較して、地方自治のあり方や地方分権の意義について考察している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート) ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、単元を貫く課題に対する予想をたて、学習の見通しを立てている。 (ワークシート)</p>
2時	<p>◇地方自治の仕事としくみ、地域住民がもつ権利について、地域の具体例を通して理解を深める。 問 どのようにすれば住民の声を地方自治に届けることができるのだろうか。</p>	●		<p>●地方自治のしくみや住民に与えられた権利について理解している。 【知識・技能】 (ワークシート)</p>
3時	<p>◇地方財政の現状について資料を基に調べ、課題について理解する。 問 地方の財政は、どのように使われているのだろうか。</p>	●		<p>●地方財政の現状について、資料を基に調べ、現状や課題について理解している。 【知識・技能】 (ワークシート)</p>
4時 (本時)	<p>◇「財政問題」や「人口減少」、「少子化」「高齢化」について、優先的に解決すべきことを地域の実態を踏まえて、多面的・多角的に考察、構想できる。 問 よりよい九戸村にするために、どの課題を優先的に取り上げればいいのか。</p>		●	<p>●地域で起こっている課題について、地域の実情を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現できる。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>
5時	<p>◇地域の長所や短所を踏まえ、地域をよりよくするための解決策を、多面的・多角的に考察・構想する。 問 九戸村議員になって、よりよい九戸村になるための提言をしよう。</p>		○	<p>○地域の長所や短所を踏まえた上で、よりよい地域にするための提言を多面的・多角的に考察し、表現できる。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>

10 本時の指導（4時間目/全5時間）

(1) 目標

「財政問題」や「人口減少」、「少子化」「高齢化」について、優先的に解決すべきことを地域の実態を踏まえて、多面的・多角的に考えることができる。

(2) 本時で働かせる見方・考え方

「地方自治」に加え、「対立と合意」、「効率と公正」、「個人の尊重と法の支配」、「民主主義」の視点を踏まえた上で、地方の課題について考える。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	1, 前時までの学習の振り返りをし、地域の課題を確認する。 2, 学習課題を把握する。	・前時までの学習シートを使い、「地域のよさ」「地方財政」、「人口減少」「少子高齢化」の4つの課題について振り返らせる。
<p>【学習課題】 よりよい九戸村にするために、どれを重点に取り上げればいいのか。</p>		
展開 40分	3, 学習課題を解決する。 (1) 本時の学習の流れを説明する。 (2) 個人で、4つの課題について重点的に取り上げたい割合を円グラフで表す。 (3) グループで優先的に取り組みたい課題の順位を考える。 (4) グループごとに意見を発表させる。 (5) 個人でもう一度、4つの課題について円グラフで表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを説明し、生徒が見通しをもって学習できるように支援する。 ・「効率と公正」を意識して考えるように指導する。 ・ロイロノートに資料を送り、優先順位で並び替えるように指示する。 ・学習シートに理由を書く項目をつくり、意見をまとめやすくする。 ・班長のロイロノートに優先順位をまとめさせる。 ・参考になる意見があったらメモをするように指示する。 ・次の時間に単元を貫く課題のまとめとして取り組むことを伝える。 <p>◇地域で起こっている課題について、地域の実情を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現できる。(ワークシート)</p>
終末 5分	4, ふりかえりを記述する。	<p>よりよい地域作りのために、何を解決しなければならないか分かった。次の時間は、その課題を解決してさらに住みやすい地域になるようなアイデアを出したい。</p>